



出前講座で学ぼう

私たちにできることって？

5月19日(木)、佐世保市にある「社会医療法人財団 白十字会 介護老人保健施設サン」にて、出前講座を実施しました。講師は、佐世保地区推進員の一瀬志津子さん。講座の様子を紹介します。

ムリせず、できることから始めましょう！

講座では、地球温暖化のしくみをはじめ、「エアコンや、冷蔵庫など、家庭での電力使用量が大きなところから省エネすると効果的」と、推進員でもあり、主婦でもある一瀬さんが「身近にできる省エネ」を伝えました。



省エネチャレンジ宣言

講座後、実践したい省エネについて、アンケートを取りました。「冷蔵庫を整理する」「エアコンのフィルターを掃除する」などの、省エネチャレンジがあげられました。



講座を受けた方から、「プレゼンに加え、体験もでき、非常に楽しく聴くことができました」と感想をいただきました。

みなさまも出前講座を受けてみませんか？



地域からはじめよう！出前講座開催のご案内

みなさんの地域でも、「温暖化について詳しく知りたい」「家庭でも取り組める活動を紹介してほしい」といった要望がございましたら、地域の推進員に出前講座の開催を依頼することができます。楽しい環境教材に、子どもたちも大喜び！みなさんも環境講座を開いてみませんか？

出前講座開催までの流れ

1 出前講座開催申込み

センターのホームページ (<http://nccca.jp>) より申込用紙をダウンロードできます。実施予定日の**1か月前**までに申込用紙に、受講したい講座のテーマなどを記入して、センターへ提出して下さい。

開催場所は
県内に
限ります！

2 センターから各推進員へ連絡・調整

・講師料／**無料**

(講座に必要な材料などを用意していただく場合がございます。)

・講座の時間／原則午前10時～午後5時までの間90分以内

※ 曜日、時間などご相談ください。諸事情によりご希望に添えない場合がございますので、予めご了承ください。

教材は
ホームページを
ご覧ください！

3 出前講座の受付確定と実施

出前講座申込み者へセンターから実施確定の連絡があり、当日推進員が伺います。

ご不明な点
はセンターへ
ご相談ください

エコが通信

発行日 / 平成23年6月 編集 / 長崎県地球温暖化防止活動推進センター 発行 / 長崎県未来環境推進課
〒850-8570 長崎市江戸町2-13 TEL / 095-895-2512 FAX / 095-895-2566

エコが通信

通信

温暖化防止かわら版
<http://nccca.jp>

第12号

2011.06

特集

自然エネルギー
省エネポイント



センター長よりご挨拶

このたびの東日本大震災で被災された方々へ心よりお見舞い申し上げます。また一日も早い復興を願うと共に、当センターとしてもできる限りの協力を行って参ります。

長崎県内では、101名の温暖化防止活動推進員が、家庭や学校、自治会などへ市民レベルでの温暖化防止対策の啓発活動を当センターと連携しながら行っております。平成22年度は環境活動や学習会に参加して頂くなど、県内全体で延べ4万人超の方々に温暖化防止のための取り組みを伝え、実践して頂くことが出来ました。

東日本大震災後の日本は、エネルギー需給の面でも大変な危機的状況に陥っています。しかし、乗り越えられない危機はなく、また逆に国民のエネルギー問題への関心の高まりもあり、地球温暖化防止・エネルギー問題解決の糸口を見つけるチャンスでもあります。当センターとしても省エネの推進に一層努めて参りますので、どうか皆様も、この問題を一人一人が真剣に考え、日本復興の一助となるよう県民一丸となって、家庭など身近なところから、エネルギー消費削減にご協力をお願い致します。

長崎県地球温暖化防止活動推進センター センター長 菊森 淳文



「地球温暖化防止活動推進センター」は、各都道府県に設置されており、長崎県センターもその中のひとつです。地球温暖化防止活動に関する「啓発・広報活動」、「活動支援」、「調査」などを行っており、その一環として、「エコなが通信」で情報を発信しています。

環境月間 街頭キャンペーン 市民のみなさまと環境について考えました

6月4日(土)、長崎市浜の町ベルナード観光通りで、「環境月間 街頭キャンペーン」が開催されました。長崎地区、西彼地区推進員もブースを出展し、来場者に環境啓発を行いました。



長崎



西彼



▲長崎県のゆるキャラも集まりました

クイズ 長崎地区は、ごみ分別ゲームで、家庭での分別を呼び掛けたり、照明比較点灯実験を実施。西彼地区は、エコクイズやエコライフチェックを行いました。さて、西彼地区が出題した問題です。

次のうち、自然エネルギーでないものは？
1. 風力 2. 原子力 3. 地熱 4. 太陽光

ご 掲 げ



推進員全体研修会

省エネ普及リーダーが活躍します！

これから、みなさまの町で活躍する、省エネ普及リーダー育成のため、5月28日(土)、推進員全体研修会が開催されました。県内各地から推進員が集まり、講師の話や、ワークショップで、省エネの伝え方などを学びました。研修会の一部をご紹介します。



▲講師の林真実さん

じぶん・エコスタイルを創造しよう！

省エネ普及指導員の林真実先生を迎え、省エネを実践するコツを伺いました。省エネを実践するなかで、自分自身のスタイルを持つことも大切。林先生の「じぶん・エコスタイル」は、下の5つ。みなさんも自分だけのエコスタイルを考えてみましょう。

健康的で快適な暮らしの実践・五感を磨く・温故知新
自然環境とのつながりを持つ・批判しないで楽しむ

省エネのツボは、「kWh」を読み解くこと

省エネは、「kW(消費電力)」を小さくする、もしくは、使う時間「h(時間)」を短くするという。ダブルで実践すると、さらにGOOD。

(例) kW減=冷房の温度を上げる h減=冷房の使用時間を短くする

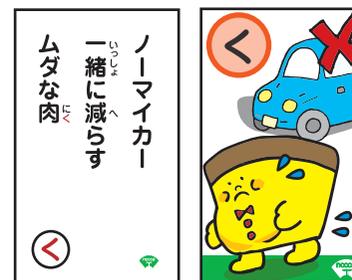
省エネカルタをつくりました！省エネ川柳大会！

生活のなかで感じた省エネエピソードを川柳にしてみました。普段から、省エネを意識している推進員だからこそ、生まれる川柳もたくさんありました。そのなかでも、特に心をつかんだ、思わず笑える省エネ川柳はこちらの2作品。

未来環境推進課 課長賞



センター長賞



▲発表する川柳を選ぶ様子



▲研修会に参加した推進員



これから広がるエネルギー 自然エネルギーを知ろう!

私たちの周りには、たくさんの電化製品であふれています。これらの機器を動かす電力は、化石燃料や自然エネルギーからつくられています。エネルギーの種類やその大切さを学びましょう。

化石燃料とは?

石炭、天然ガス、石油など、動物や植物の死がいや地中に堆積し、長い年月で変成してできた有機物の燃料のこと。これらを燃焼させ、エネルギーにしますが、燃焼時に温暖化の原因でもある二酸化炭素などが発生します。また、原料となる資源には限りがあります(図1)。

自然エネルギーはどんなもの?

自然エネルギーとは、自然環境から得られるエネルギーのこと。二酸化炭素の排出量も少ないので、地球温暖化防止や省エネルギーにも優れています。今回は、太陽光、風力、地熱を紹介します。



太陽光発電

太陽電池を利用して、太陽光のエネルギーを電力に変換する。

+ポイント 家でも太陽光発電 一般家庭にも設置できるので、急速に普及している。



風力発電

風の力で風車を回し発電。安定した風が吹いている場所が設置場所として最適。

+ポイント 効率のよい発電 風のエネルギーを40%近く、電気に変換できる。

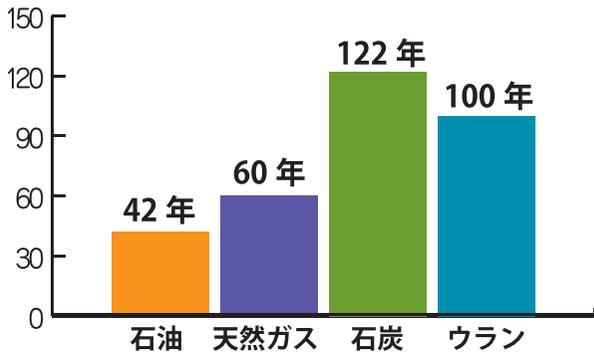


地熱発電

地中から得られた蒸気でタービンを回し発電する。主に火山活動が用いられる。

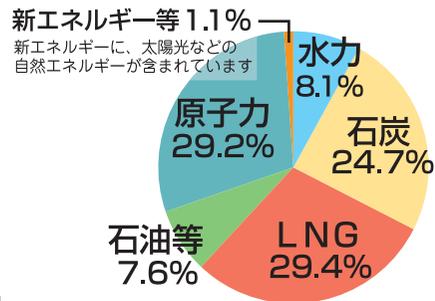
+ポイント 純国産エネルギー 火山活動が活発に行われている九州に適した発電方法。

図1 世界の化石燃料の可採年数



出典:「世界のエネルギー資源可採年数 2008」

図2 発電電力量の構成(2009年度)



出典:資源エネルギー庁「平成22年度電力供給計画の概要」



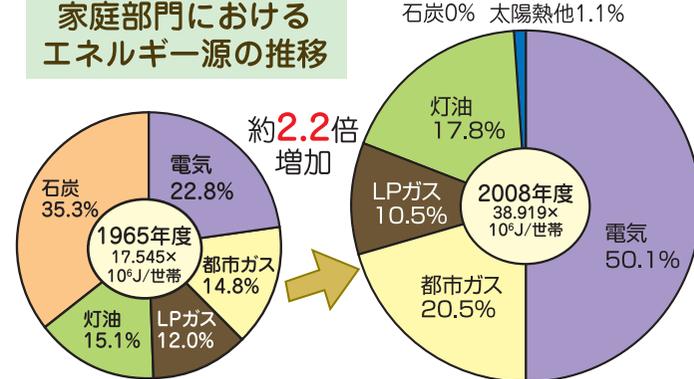
環境に優しい自然エネルギー。でも、普及はこれから(図2)。
私たちは、まず身近にできることから始めてみよう!



省エネ実行で15%削減達成! おうちでできる省エネプラン

新たな家電製品の普及、大型化・多機能化などによって、家庭の消費電力量は大幅に増加しました(図1)。そこで、電気の省エネを実行するとCO₂排出量削減も大きく見込めます。

図1 家庭部門におけるエネルギー源の推移



出典:経済産業省 資源エネルギー庁エネルギー白書2010

例えば! 15% 省エネプラン

- 電気ポットで保温しない 9.87kWh/月
- 炊飯ジャーの保温を止める 9.05kWh/月
- 冷蔵庫を壁から離して設置する 6.77kWh/月
- コンセントを抜き、待機電力を減らす 6.98kWh/月
- 照明の点灯時間を1時間短くする 3.59kWh/月
- テレビを点ける時間を1時間短くする 5.28kWh/月
- テレビ画面を適正な明るさに調節する 7.42kWh/月

平均的な3人家庭が取り組む場合の年間の電力使用量(322.5kWh/月)が15%削減できるモデル
出典:「どうする?どうやる?節電せい!」

長崎県未来環境推進課からのお知らせ 家庭で「省エネナビ」を使ってみませんか

長崎県では、希望する方に1ヶ月間「省エネナビ」の貸し出しを行います。また、終了後に、ご家庭のライフスタイルに応じた省エネアドバイスを行います。この機会に、「省エネナビ」を使って、省エネライフを始めませんか。

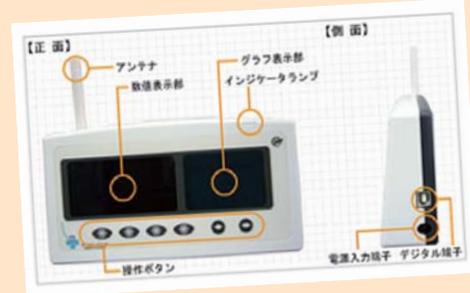
省エネナビとは?

ポイント1 家庭ごとのデータが「見える」

「省エネナビ」は、分電盤に測定器を取り付けて使用電力量を計測し、CO₂や電気料金に換算して、リアルタイムに数値やグラフで表示するモニター装置です。

ポイント2 省エネ目標値が設定できる!

ご家庭で使用量などの目標値を設定でき、目標値がオーバーすると、ランプや音で知らせてくれるので、常に目標値を意識した省エネ行動を行うことができます。



▲省エネナビ

個別の省エネ診断の実施

貸出を受ける方は、アンケートにご協力ください。終了後に、アンケート結果や省エネナビが記録したデータを基に、ご家庭の省エネ診断を行います。

終了後、アンケート、省エネナビが記録した電力使用状況のデータ、及び貸出機関を含む2ヶ月分の「電気利用明細書(コピー可)」の提出をお願いします。収集したデータについては、県で整理のうえ、個人情報を除く範囲内で公表することがありますのでご了承ください。ご家庭で簡単に取り付けられますが、分電盤の形状により、取り付けられない場合もあります。

省エネナビを
体験できるチャンス!
(定価3万5千円程度)

詳しくは、長崎県環境部 未来環境推進課 地球環境班 TEL:095-895-2512 FAX:095-895-2566



エコ トライアル カステラくんの ECO TRIAL

省エネって、何から始めたらいいんだろう？
「省エネを始めるときのコツ」を省エネ普及指導員の島田さんに訊きました！

「自分の消費電力量を知って賢く節電」

ダイエットする際、体重を計り何キロ減らそう！と目標を決めますよね。間食しない、ジョギング3キロなどと、目標数値に合わせて具体的なメニューを考えます。同様に、省エネも始める前にまず、「家庭の消費電力量を知る！」ことが大切。そこで、我が家の消費電力量を見てみましょう。

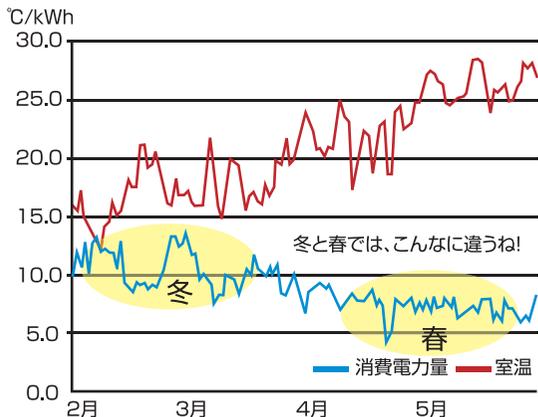
まず図1では、春になると共に電気の消費量が減少していることが分かります。暖房機器の使用時間が減っているからですね。春は冬と比べ、1日の消費電力量は約半分です。「えっ！半分！？」と自分でも改めて驚きました。

図2は、冬の我が家の消費電力量の割合です。冬場はホットカーペットとエアコンが半分を占めています。我が家では、ホットカーペットがメイン暖房だったのですが、油断して長時間使ってしまう、結果家計にも打撃を与えてしまいました。来年はホットカーペットの「設定温度を低くする」、「時間を減らす」のダブルで省エネをしてみます。

この夏はエアコン使用の増加が予想されます。さらに分析して、節電を成功させたいものです。皆さんもまず、自分の消費電力量を確認することから始めてください。電化製品の裏側でワット数がチェックできます。また電気やガスの利用明細書で毎月の使用量もチェック可能です！

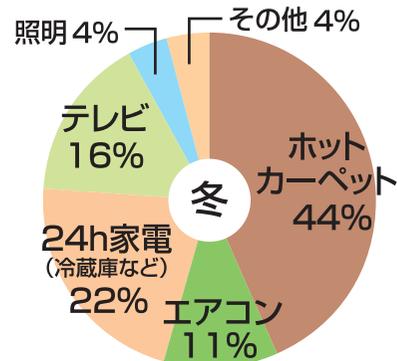
島田福子（長崎県地球温暖化防止活動推進センタースタッフ・省エネ普及指導員）

図1 冬から春にかけての消費電力量と室温の推移（島田家の場合）



※データは「省エネナビ」という家庭の電気使用量をリアルタイムで計測し、記録してくれる装置で計測

図2 1日の消費電力量の割合（島田家の場合）



※データは家電製品ごとの消費電力量から独自に算出
消費電力量＝（消費電力×使用時間）



幅広く活動しています！ 地域の推進員紹介

長崎県から委嘱された推進員は県内に101名。温暖化防止のために熱心に活動しています。講演会や出前講座のご相談はセンターへお問い合わせください。あなたの町の推進員をよろしく願います。

長崎地区

おおた きょうこ
太田 恭子さん



【活動対象】
学校、一般

【活動内容】
環境にやさしい暮らしの実践、情報発信として、緑のカーテンコンテスト、エコクッキング、竹炭・竹酢液の作成、衣食住に関するエコフォーラム、子ども自然サミットなどを実施。

【私の省エネ術】
遮熱カーテンで、エアコンは控えるが28℃に設定。移動は、主に公共交通を利用。マイバッグを持参し、地産地消の買い物も実践。

【自己PR】
環境のためにがんばって活動されている「エコ名人」から実践のコツや工夫を教えてください、1人でも多く気軽にエコ活動ができるよう「衣食住のエコレシピ」を作成予定です。「エコ名人」の情報お待ちしてます！



▲ 竹炭・竹酢液をつくる様子

佐世保地区

やまにし ひろふみ
山西 浩文さん



【活動対象】
未就学児、小中学生、一般市民

【活動内容】
東日本大震災復興に繋がり、これまでの暮らしを見直す省エネ。放射線の風評被害にまどわされない正しい見識を持たせる環境教育。

【私の省エネ術】
週に数度、自転車で通勤しています。景色を楽しみながらノーマイカー通勤を推進します。

【自己PR】
小学校の教員。させぼエコプラザ理事。TOSS 長崎という教育研究団体に所属し、活動を通して地球環境を担う人材の育成に取り組んでいます。



▲ ハウステンボスで水の浄化システムについて学習